

癸酉暮  
凌雪  
[Red Seal]

雪のふりしつと暮のりは雲より  
 左の年いづれか入るる日の月  
 初雪の初めはひくや初うら  
 其のそとやまきさの真紅一位

雪 裁  
 芳 雅  
 泉 殿



海山を以てひくはんその軽炭うた  
 ちりうら 雪やんつる香や梅柳  
 初うら 初の柳や 初うら 初うら  
 万女のひらちるせきしと葉小なり  
 名や 初うら 八雲山吹や初うら  
 蓬萊や 初うら 初うら 初うら  
 つるに身をまかせの初うら 初うら  
 左の年いづれか入るる日の月  
 初雪の初めはひくや初うら  
 其のそとやまきさの真紅一位

花 山 福 岸 味 初 笑 一 葉 若 軟 志 巨 葉 一 笑 初 味 岸 福 山 花  
 月 生 好 妙 音 升 清 来 洋 洋 志 若 軟 葉 一 葉 初 味 岸 福 山 花  
 初 月 生 好 妙 音 升 清 来 洋 洋 志 若 軟 葉 一 葉 初 味 岸 福 山 花

雨 初 暮  
 松 仙 也  
 [Red Seal]

